

CONTENTS

カレンダー	1	My Library 登録メールアドレスの 変更について(学生対象)	3
KOSMOS に新機能が加わりました	2	今月の雑誌の動き	3
よくある質問	2	貴重書紹介『無言抄 3巻 在巻上』	4
今月のお知らせ	3		

今月の数字
721,113人
【答えは裏面】



図書館開館時間

	月～金曜日	土曜日	日曜日・祝日
通常開館日(無印)	8:45～22:00	8:45～18:00	休館
短縮開館日(○印)	8:45～20:00		

※旧館は上記の10分前に閉館します。なお、書庫の利用は閉館時刻の30分前までとなります。
南館は上記の40分前に閉室・閉庫します。
※通常開館の平日(月～金)、新館を8:30から開館します。

5
2012
May

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
4/30	1	2	3 憲法記念日 休館	4 みどりの日 休館	5 こどもの日 休館	6 休館
7	8	9	10	11	12	13 休館
14	15	16	17	18	19	20 休館
21	22	23	24	25	26	27 休館
28	29	30	31			

※開館時間は悪天候ならびにキャンパス行事等により変更されることがあります。館内の掲示やホームページ等でご確認ください。

2012年 日・EUフレンドシップウィーク参加企画 “今だから知りたい、EUとユーロ”のお知らせ



日・EUフレンドシップウィークとは、駐日欧州委員会が毎年5月9日のヨーロッパ・デー(EUの誕生日)を中心に、日・EU間の相互理解を深め、人的交流を図るために開催しているイベントです。慶應義塾は、三田メディアセンターにEU情報センター※を設置していることから、毎年このイベントに参加しています。EUでは今、ユーロ危機が大きな課題となっています。EUやユーロ、何となくはわかっているけれど、くわしくはわからない…そんな皆さん向けに、EUやユーロの基本的なしくみについて、パネル展示を行います。また、EUオリジナルグッズがもらえるEUクイズも実施します。どうぞご参加ください!

<パネル展示 & EUクイズ> 「今だから知りたい、EUとユーロ」
期 間：5月7日(月)～19日(土)
場 所：図書館3階 & 4階エレベータ前ホール

※EU情報センター(European Info: EU i)
欧州委員会がEUに関する情報を提供するために世界各国に設置しているセンターです。
欧州委員会出版局から寄贈を受けた、EU公式資料(官報・雑誌・統計・図書等)を収集しています。



KOSMOSに新機能が加わりました

今年の2月から「KOSMOS」の画面デザインが新しくなり、次のような新機能が追加されました。便利になったKOSMOSをぜひ活用してください。

① 論文検索

日本語の論文をKOSMOSで検索できるようになりました。論文検索では外部データベースのCiNii Articlesを検索します。画面上のリンクから、論文の全文を見られる場合もあります。

② 全文データへのリンク

Google Booksライブラリープロジェクトで電子化した慶應義塾図書館の蔵書を、KOSMOSで検索できるようになりました(著作権保護期間が終了した和書のうち約10万冊)。全文データへのリンクが貼られており、学外からも読むことができます。

③ 前方一致検索

タイトルの前方一致検索ができるようになりました。
タイトルの前半部分のみを覚えている場合などに有効な検索方法です。

④ 目次検索

2000年以降出版の日本語図書の一部は、目次に含まれている語も検索対象となりました。



※館内のKOSMOS専用端末では、論文検索や電子ジャーナル、電子ブックへのアクセスはできません。

よくある質問

Q: 今日はあいていますか? 何時までやっていますか?

A: 月曜日から土曜日まで開館しています。平日は22:00、土曜日は18:00に閉館します。旧館はこの10分前に、南館図書室は40分前に閉まります。

夏休みなどは開館時間が変わりますので、詳細は図書館のホームページ (<http://www.mita.lib.keio.ac.jp/>) の「開館カレンダー」や、携帯サイト (<http://www.mita.lib.keio.ac.jp/k/>) で確認してください。図書館内では、ミニカレンダーも配布していますので活用してください。

今月のお知らせ

春のライブラリーオリエンテーション好評実施中

ライブラリーオリエンテーションでは、ゼミやクラスのテーマにあわせて、必要な資料の探し方やデータベースの使い方を以下の2つのメニューで実施しています。グループ単位での事前予約制となりますので、ゼミやクラス単位で申し込んでください。

- **文献探索ツアー**／希望のテーマにあわせたデータベースやレファレンスツールの紹介と図書館内ツアーです。文献の探し方や図書館のいろいろなサービスについて案内します。3名以上で申し込んでください。
申込期限：1週間前
- **データベース体験講座**／パソコンを1人1台使う特定データベース(1～2種類)の検索実習です。7名以上で申し込んでください。
申込期限：2週間前

所要時間：60分もしくは90分 実施時間：平日 9:00～18:00

申込方法：図書館1階レファレンスカウンターに申込票を提出してください。

申込票(PDF)はホームページからもダウンロードできます。☞ <http://www.mita.lib.keio.ac.jp/services/ref/orientation>

展示のお知らせ (図書館1階展示室)

5月の展示：「三田文学ライブラリー：永井荷風の初版本を中心に」 5月10日(木)～31日(木)

6月の展示：「信仰と学問：西洋中世写本の世界」 6月6日(水)～6月30日(土)

My Library 登録メールアドレスの変更について(学生対象)

2012年度より、図書館からの下記のお知らせは慶應メール(keio.jp)に、送ることになりました。携帯アドレスやプロバイダのアドレスは登録できません。以前登録されていたkeio.jp以外のアドレスは削除されましたので、ご注意ください。なお、教職員、通信生などは従来通りです。

お知らせ内容

- 予約・取寄せ資料のお知らせ
- 返却期限日のお知らせ
- 資料返却期限超過のお知らせ 等

慶應メール、keio.jpについては、ITCのホームページをご覧ください。

- ▶ keio.jpを利用したことがない! ☞ [ITCホームページ](#) > [keio.jp](#) > [keio.jp マニュアル](#) > [アクティベーション](#)
- ▶ ほかのメールアドレスで受け取りたい! ☞ [ITCホームページ](#) > [keio.jp](#) > [慶應メール](#) > [転送設定](#)

今月の雑誌の動き

新規

- Personalmagazin : management, recht und organisation (Haufe-Lexware GmbH) 2011 (10-12) (2011) -
 Recueil de jurisprudence du Québec (Société québécoise d'information juridique) 2001 (2001) -
 法曹養成対策室報 (日本弁護士連合会法曹養成対策室 [編]) 1 (2006) -
 難民研究ジャーナル (難民研究フォーラム [編]) 1 (2011) -
 月刊ロシア通信：ロシアの総合情報誌=Russian journal monthly research report (JSN) 141 (2012) -
 台湾金融経済月報 [復刻版] (ゆまに書房) 1 (1929) -183 (1945)

誌名変更

- Forum Stadt (Bernhard Albert Greiner Verlag) 38 (1) (2011) -
 前誌名：Alte Stadt
 大和総研調査季報=DIR research quarterly review (大和総研調査部) 1 (2011) -
 前誌名：DIR market bulletin=ダイワマーケットブリテン

廃刊・休刊

- Osteuropa Wirtschaft (Deutsche Gesellschaft für Osteuropakunde) -56 (2011)
 ダイヤモンド会社職員録. 全上場会社版 (ダイヤモンド社) -2011 (2011)
 会社職員録. 非上場会社版 (ダイヤモンド社 [編]) -2010 (2010)
 更生保護と犯罪予防 (日本更生保護協会 [編]) -45 (154) (2012)
 文部科学時報 (文部科学省 [編]) -1635 (2012)

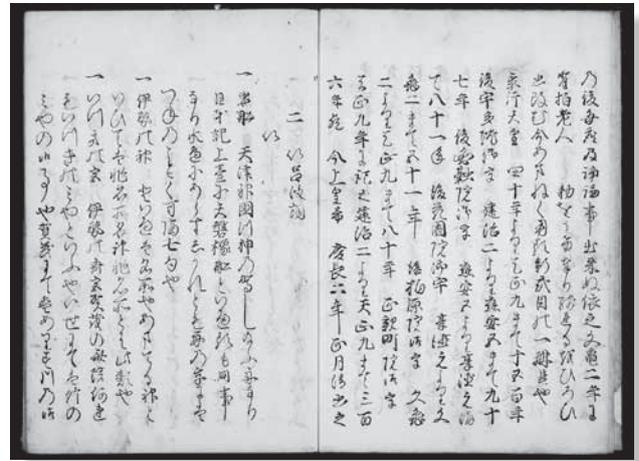
新規電子ジャーナル

- Asian journal of communication 7 (2) (1997) -
 Communication and critical/cultural studies 1 (1) (2004) -
 Communication monographs 64 (1) (1997) -
 Mass communication & society 1 (1) (1998) -
 Public understanding of science 1 (1) (1992) -

貴重書紹介

『無言抄 3巻 存巻上』 応其 慶長頃刊 古活字版之研究第2種イ 1冊

本書は、高野山の僧である応其により慶長年間(1596-1615)に編纂された連歌の規則や作法をまとめた歌論書です。式目濫觴(らんしょう)・伊呂波詞・四季詞以下二五章から成り、きわめて豊富な内容となっています。平安末期から和歌は、複数の作者が連作するという連歌形式となったため、直前の歌の内容を受け継ぎ次の歌の上の句を作りやすいように配慮するなど細かな注意事項がありました。特に、室町時代に入ると連歌が寺社や宮中において年中行事の神事の一つとして広く盛んに行われ、必須の教養とも位置付けられました。そのため、本書は「末代の重宝なるべし」とも評され、その後携帯しやすいように横型版が登場するなどさまざまな形で公刊され、近世の俳諧作法書にも影響を与えました。



本書が刊行された慶長年間前後の50年間は印刷史上注目

すべき時代でもあります。それまでの刊本は寺院において仏教書を中心に木版印刷で行われていましたが、豊臣秀吉による朝鮮出兵の際に銅活字が日本に導入されたことで、当時の筆記書体である草書体の漢字や平仮名を2字、3字とつなげた木製活字を組み印刷するようになりました。複数部数を一度に作成することができる木版印刷は、一度版木を作ると訂正ができない欠点がありますが、これを補ってくれる活字印刷は民間にも広まり書物の流布に多に貢献しました。この時代の木活字による印刷本を古活字版と言います。本書は、三種類に分類される古活字版のうちの第二種古活字版で、3巻のうち上巻のみを所蔵しています。第一種と同じ底本に基づいていますがやや欠落があり、跋文からも別物と区別されています。古活字版は、需要の増大とともに労力、時間、コストの面で大量印刷が可能な木版印刷にはかなわず、江戸時代になって次第に消滅しました。

本書の筆者である応其は、豊臣秀吉の紀州征伐の際に和議に臨んだことで知られています。現在でもかな書道の手本として知られる「高野切」は紀貫之が書いたとされる古今和歌集の現存最古の作品ですが、秀吉が所持していたものを応其が賜わり、高野山に伝来することからこう呼ばれています。秀吉没後も豊臣家と深くかかわったため、徳川家康から関ヶ原の戦いで豊臣側へ加担した疑いで追及され、高野山を降りて隠棲しました。本書を編纂したのはこの時期で、無始無終無言で編纂した後陽成帝に献上したと自序に書いてあるように、生涯を締めくくる終焉の書だったようです。 [110X@539@1] (平吹佳世子)

今月の数字
答え

平成23年度の三田メディアセンター入館者数です。利用者数が最も多いのは6月で92,222人、平均して毎日3,416人が利用しました。1年間の入館者数の内訳は、新館が83%、南館図書室が14%、旧館が3%でした。自宅から様々なサービスを受けられるようになり、入館者数は減っていますが、より快適な図書館環境を整えていきたいと考えています。

メディアセンターの利用にあたって

- 図書館への入館・サービスの利用には学生証・図書利用券が必要です。必ず、携帯してください。
- 各サービスの利用には一定の条件があります。詳細は各カウンターへお問合わせください。
- 図書館は多くの方が利用します。携帯電話での通話、おしゃべりなど、他の利用者に迷惑となる行為はやめましょう。
- 特に飲食は資料へ悪影響となりますので固くお断りいたします。
- パソコン・電卓等は定められた場所で利用してください。
- 図書館内のコピー機は図書館資料を複写するために設置されているため、それ以外のコピーは禁止です。

三田メディアセンターニュースは、ホームページでもご覧になれます。
http://www.mita.lib.keio.ac.jp/guide/publication/mc_news/

発行所 慶應義塾大学 三田メディアセンター
〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
TEL 03-5427-1654 FAX 03-5484-7780
発行日 平成24年5月1日
印刷 有限会社 梅沢印刷所